



平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月1日

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7446 URL <http://www.t-kagaku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 幸弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理グループ経理部長 (氏名) 小寺 伸哉 (TEL) 0172-33-8131  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績 (平成27年10月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	22,640	3.9	113	21.5	142	20.0	74	17.0
27年9月期第3四半期	21,787	△2.6	93	△58.5	118	△52.1	63	△58.0

(注) 包括利益 28年9月期第3四半期 5百万円(△98.2%) 27年9月期第3四半期 286百万円(53.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
28年9月期第3四半期	円 銭 15.79	円 銭 —
27年9月期第3四半期	13.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年9月期第3四半期	13,486	4,656	34.4	991.51
27年9月期	13,893	4,735	34.0	1,006.88

(参考) 自己資本 28年9月期第3四半期 4,648百万円 27年9月期 4,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	17.00	17.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の連結業績予想 (平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	30,800	4.2	280	36.0	306	27.3	130	△18.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項」をご覧ください

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年9月期3Q	4,800,000株	27年9月期	4,800,000株
② 期末自己株式数	28年9月期3Q	112,027株	27年9月期	102,027株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年9月期3Q	4,697,608株	27年9月期3Q	4,698,925株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融緩和策などにより穏やかに回復基調であるものの、円高や株安の影響で設備投資は足踏み状態で推移しました。また、海外では、米国の利上げ観測や中国経済の減速懸念などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境の変化に対応するため体質を強化し、積極的な営業活動をしてまいりました。

この結果、前年同四半期と比べ、売上高は、226億40百万円と8億53百万円(3.9%)の増収、営業利益は、1億13百万円と20百万円(21.5%)の増益、経常利益は、1億42百万円と23百万円(20.0%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、74百万円と10百万円(17.0%)の増益となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

## (化学工業薬品)

化学工業薬品は、主力であります電子部品産業がやや立ち直りを見せたことや国策によるジェネリック医薬品製造業が高稼働を維持したことなどにより前年同四半期を上回りました。また、同関連機器は、民間企業の設備投資が増加したことにより前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、全体で100億57百万円と2億47百万円(2.5%)の増収となりましたが、セグメント利益(売上総利益)は、競争激化の影響もあり、8億54百万円と25百万円(△3.0%)の減益となりました。

## (臨床検査試薬)

臨床検査試薬は、需要増や検体検査項目の新規採用による増加などにより前年同四半期を上回りました。また、同関連機器は、新規納入分が計画通り進んだため前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、全体で97億76百万円と4億32百万円(4.6%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は、利益率の改善により8億77百万円と50百万円(6.1%)の増益となりました。

## (食品)

食品は、消費低迷の影響による生産調整などありましたが、前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、24億8百万円と1億66百万円(7.4%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は、2億3百万円と13百万円(7.1%)の増益となりました。

## (その他)

その他は、栽培面積の減少や農薬使用回数の削減など厳しい状況が続いておりますが、暖冬の影響で農薬の需要が早まり、早期納品となったため、前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、3億97百万円と5百万円(1.5%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は、35百万円と5百万円(18.8%)の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、4億7百万円減少し、134億86百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、3億27百万円減少し、88億30百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、79百万円減少し、46億56百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

## (資産)

資産の減少の主な要因は、現金及び預金が1億21百万円及び商品が1億63百万円増加したものの受取手形及び売掛金が4億27百万円及び投資有価証券が1億8百万円減少したことによるものであります。

## (負債)

負債の減少の主な要因は、長期借入金と短期借入金が合わせて91百万円、リース債務が71百万円及び未払法人税等が61百万円減少したことによるものであります。

## (純資産)

純資産の減少の主な要因は、その他有価証券評価差額金が72百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済につきましては、景気の回復は不透明であり、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想されます。第3四半期までの業績動向を踏まえ、平成27年11月16日に公表した平成28年9月期の通期予想につきましては、計画どおり推移しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。 )及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。 )等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	808,247	929,750
受取手形及び売掛金	7,290,331	6,863,205
商品	798,082	961,538
繰延税金資産	49,177	25,171
その他	323,217	292,105
貸倒引当金	△2,522	△1,099
流動資産合計	9,266,533	9,070,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	421,677	399,910
土地	1,604,835	1,569,373
リース資産(純額)	144,870	156,853
その他(純額)	288,978	291,531
有形固定資産合計	2,460,363	2,417,668
無形固定資産		
のれん	64,896	40,560
その他	14,131	16,250
無形固定資産合計	79,027	56,810
投資その他の資産		
投資有価証券	1,141,447	1,033,016
リース投資資産	127,085	85,653
その他	857,163	861,134
貸倒引当金	△38,038	△38,465
投資その他の資産合計	2,087,657	1,941,338
固定資産合計	4,627,048	4,415,818
資産合計	13,893,582	13,486,490
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,277,944	7,180,779
電子記録債務	91,194	172,172
短期借入金	380,000	340,000
1年内返済予定の長期借入金	68,760	68,760
リース債務	153,918	110,512
未払法人税等	68,814	7,385
賞与引当金	62,370	15,000
その他	168,972	142,439
流動負債合計	8,271,974	8,037,050
固定負債		
長期借入金	189,660	138,090
リース債務	233,019	205,413
繰延税金負債	157,693	134,757
退職給付に係る負債	106,161	107,001
役員退職慰労引当金	162,875	171,364
その他	36,485	36,586
固定負債合計	885,894	793,213
負債合計	9,157,868	8,830,263

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	2,685,868	2,680,599
自己株式	△46,873	△51,753
株主資本合計	4,340,494	4,330,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	418,865	346,851
退職給付に係る調整累計額	△29,048	△29,048
その他の包括利益累計額合計	389,816	317,802
非支配株主持分	5,402	8,078
純資産合計	4,735,713	4,656,226
負債純資産合計	13,893,582	13,486,490

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	21,787,083	22,640,286
売上原価	19,860,220	20,670,301
売上総利益	1,926,862	1,969,985
販売費及び一般管理費	1,833,076	1,856,031
営業利益	93,786	113,953
営業外収益		
受取利息	2,985	2,580
受取配当金	12,313	18,249
受取手数料	7,291	6,765
保険解約益	4,072	—
その他	6,762	6,820
営業外収益合計	33,425	34,416
営業外費用		
支払利息	6,504	4,963
持分法による投資損失	832	1
その他	1,038	850
営業外費用合計	8,375	5,814
経常利益	118,835	142,556
特別利益		
固定資産売却益	20,945	—
投資有価証券売却益	—	1,647
投資事業組合運用益	13,425	1,174
特別利益合計	34,371	2,822
特別損失		
固定資産除却損	82	844
固定資産売却損	—	601
投資有価証券評価損	1,950	—
リース解約損	123	—
特別損失合計	2,156	1,446
税金等調整前四半期純利益	151,050	143,932
法人税、住民税及び事業税	60,956	35,327
法人税等調整額	25,118	31,431
法人税等合計	86,075	66,758
四半期純利益	64,975	77,174
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,573	3,017
親会社株主に帰属する四半期純利益	63,401	74,156

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	64,975	77,174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	219,233	△72,013
退職給付に係る調整額	2,055	—
その他の包括利益合計	221,289	△72,013
四半期包括利益	286,264	5,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	283,495	2,485
非支配株主に係る四半期包括利益	2,769	2,675

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,810,153	9,343,766	2,241,318	391,844	21,787,083	—	21,787,083
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,810,153	9,343,766	2,241,318	391,844	21,787,083	—	21,787,083
セグメント利益	880,159	827,485	189,735	29,481	1,926,862	—	1,926,862

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,057,804	9,776,566	2,408,194	397,720	22,640,286	—	22,640,286
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,057,804	9,776,566	2,408,194	397,720	22,640,286	—	22,640,286
セグメント利益	854,189	877,643	203,136	35,016	1,969,985	—	1,969,985

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

当社は、平成27年11月16日開催の取締役会において、当社の連結子会社である北星化学株式会社を吸収合併することを決議し、平成28年4月1日に合併いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び当該事業の内容

① 結合企業

名称 東北化学薬品株式会社(当社)

事業の内容 化学工業薬品、臨床検査試薬、食品、農業資材及び同関連機器の販売を主に、これらに附帯する保守サービス等

② 被結合企業

名称 北星化学株式会社

事業の内容 化学工業薬品、臨床検査試薬及び同関連機器の販売

(2) 企業結合日

平成28年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

東北化学薬品株式会社を存続会社、北星化学株式会社を消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

東北化学薬品株式会社

(5) その他取引の目的を含む取引の概要

北星化学株式会社は、化学工業薬品、臨床検査試薬及び同関連機器の販売を中心に事業を展開しております。この度、構造改革の一環として更なる経営効率化を目指すことを目的として本合併を行うものであります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として処理いたしました。